

第1週

Before-Reading
絵本を読む前に

① 1. The Alphabet Song

Chicka Chicka Boom Boom の中表紙を開き、全員が見えるようにボードにマグネットで留めます。『英語ノート2』 付属 CD track 03 の The Alphabet Song をかけ、絵本見開きのアルファベットを指さしながら聞きます。CD の歌では、速すぎていっしょに歌えない子どもがいますから、2 回目は、先生がアカペラでゆっくり歌い、子どもたちに、いっしょに歌うように促します。その際、F と V で上の歯を下唇に当てる、M で両唇を閉じることを大げさに見せてください。



② 2. Body Alphabet

子どもたちをペアにします。「Let's make the shapes of the alphabet letters using our bodies. 体で大文字を作ってみましょう」。先生が言うアルファベットをふたりで体で表現させます。写真は M を作っている例です。E、F、K などは、先生に文字の形を見せるには方向を考えなくてはなりません。

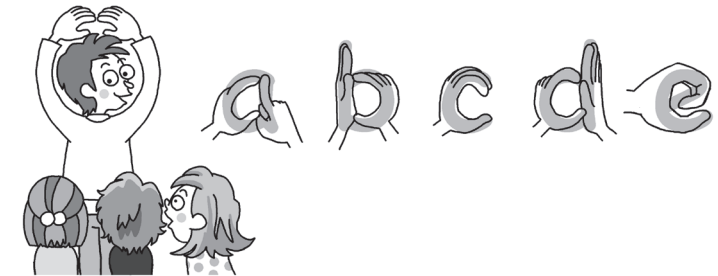


敬和学園大学「児童英語教育実践」の学生。ペアになって大文字のMを作っている。

③ 3. Finger Alphabet

次に指で小文字を表す活動を行います。小文字は子どもにとって大文字より難易度が高いので、書く練習をするだけでなく、運動感覚を使って形状を実感させましょう。b と d、p と q のような鏡文字で混乱する子どものサポートにもなります。「Now, let's make small letters of the alphabet using our fingers. 今度は指を使って小文字を作ってみましょう」。先生に見せるのではなく、自分が見て文字の形になっていけばよいのです。先生は、イラストを参考にして指でアルファベットを作り、サンプルとして子どもに見せてください。

このイラストの b と d の見せ方は、英語が母語の子どもでも b と d で混乱するときに、形を思い出すきっかけとして教えられている方法です。



④ 4. The First to Say Z! 「Z と言ったらチャンピオン！」

前列の子ども 4 名を立たせ、先生を含め 5 人で輪になります。他の子どもたちによく見えるように教室の中央で行って見せてもよいでしょう。ボールを使います（ボールのかわりに消しゴムやハンカチでもよい）。

ボールを持った人はアルファベットをひとつ、ふたつ、または 3 つ言って、次の人にボールを渡します。例えば、最初に先生が ABC と言って、子ども 1 にボールを渡し、子ども 1 は DEF と言い、子ども 2 は G、子ども 3 は HI と言います。この要領でアルファベットの文字を順番に言っていき、最後に Z と言った子どもが、1 ポイント獲得します。最初に 3 ポイント獲得した子どもがチャンピオンになります。ゲームの方法を説明したら、4 人の子どもを着席させ、班ごとにゲームを行います。アルファベットの順番を覚えていない子どももいますから、班ごとに『英語ノート2』の 4～5 ページの見開きを参考にさせるとよいでしょう。班ごとのチャンピオンが決まったら活動は終わりです。

次週はボードに留めてあるアルファベットの絵本を読むことを知らせて、授業を終えます。